

2006年  
夏号

YUTOROGI quarterly July 15, 2006

# 季刊 ゆとろぎ

発行：羽村市生涯学習センターゆとろぎ／企画・編集：ゆとろぎ協働事業運営市民の会



新・楽・遊・空間

加山雄三  
スペシャル・ウィーク  
9/19～24

加山雄三  
トーク&ライブ  
絵画展／愛をありがとう

2006年ゆとろぎ特別企画

## 新井達矢と 能面彫刻の世界

■能面作品展&ギャラリートーク

「新井達矢 面を打つ」

新井達矢の面を中所宜夫が舞う

■観世流能楽鑑賞会「殺生石」

■中所宜夫先生のミニ講座 能楽入門

■ドキュメンタリー映像 「面打（めんうち）」

ゆとろぎホール

※チケットの購入・問い合わせは生涯学習センターゆとろぎ 042-570-0707へ

# チャイコフスキー 弦楽四重奏団

絶賛発売中



■ 7月29日(土) 開場 13:30・開演 14:00  
■ ゆとろぎ大ホール  
■ 一般/前売り 2500円・当日 3000円 (全席自由)  
高校生以下 1000円

※未就学児の入場はできません。一時保育(有料・要予約)があります。

チャイコフスキー弦楽四重奏団は世界トップクラスの四重奏団として高く評価されています。2本のバイオリンにピオラとチェロが奏でる繊細な音色と重厚な響きに加えて、実力派若手ピアニスト、浜野与志男をまじえた五重奏はクラシックファンだけでなく、初めて弦楽演奏を聴く人にも新鮮な感動を与えてくれることでしょう。コンサート終了後、出演者との交流会(参加費2000円)も予定しています。普段接する機会のない演奏家に直接話を聞くことができますので、こちらからも奮ってご参加下さい。

開館祝賀祭を魅了した4人のオペラ歌手が珠玉の名曲をあなたに!

## 名曲とオペラ ガラ・コンサート

# 歌の宝石箱

予約受付中  
7/29 発売

■ 9月29日(金) 開場 18:30・開演 19:00  
■ ゆとろぎ大ホール  
■ 入場料 前売り 2000円・当日 2500円 (全席自由)  
※未就学児の入場はできません。一時保育(有料・要予約)があります。

<曲目>

オー・ソーレ・ミオ  
待ちぼうけ  
オペラ「魔笛」より パパバ  
ミュージカル「ウエストサイド・ストーリー」より  
トゥナイト 他



ソプラノ  
砂田 恵美

メゾソプラノ  
橘 今日子

テノール  
大野 徹也

バリトン  
黒田 博

あの加山雄三が海のように大きな愛をあなたにおとどけます。

# 加山雄三 スペシャル・ウィーク

## トーク&ライブ

9月21日(木) 開場 17:30/開演 18:00  
ゆとろぎ大ホール

入場料 3500円 (全席指定: 購入は1人2枚まで)

※未就学児の入場はできません。一時保育(有料・要予約)があります。

## 絵画展~愛をありがとう~

9月19日(火)~24日(日) 10:00~17:00

ゆとろぎギャラリー / 入場無料

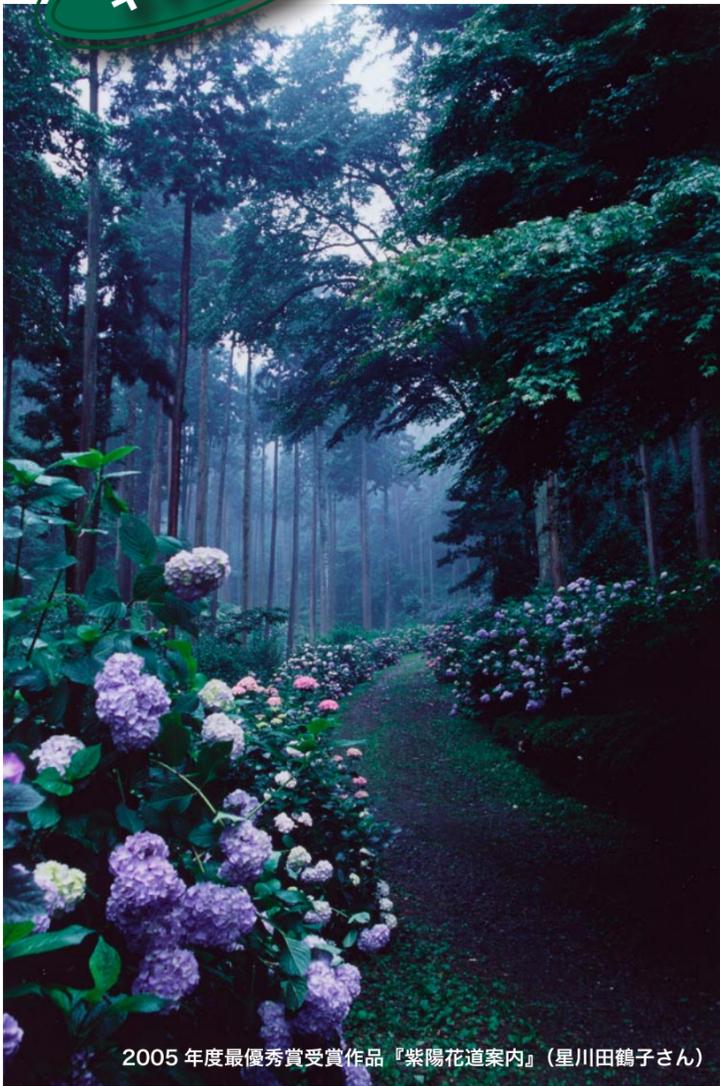
販売開始日	販売場所 (1人2枚まで)
8月6日(日)	ゆとろぎ受付窓口 ・9:00から整理券配布 ・10:00~17:00販売開始
8月7日(月)	マルフジ(各店) にしたまチケットサービス
8月8日(火)	羽村市スポーツセンター ・9:00~17:00 ゆとろぎ窓口 ・9:00~17:00

※販売は、状況によって変更になる場合があります。  
※8月6日以前の電話予約は受け付けておりません。



加山雄三  
スペシャル・ウィーク  
9/19~24

ギャラリー



2005年度最優秀賞受賞作品『紫陽花道案内』(星川田鶴子さん)

西多摩再発見フォトコンテスト入選作品

NISHITAMA

西多摩百景写真展

7月11日(火)～17日(祝) / 10:00～17:00 (最終日16:00)

ゆとろぎギャラリー / 入場無料

協力：西多摩百景写真展実行委員会

西多摩(=とかいなか(都会+田舎))の魅力

新しい世紀を迎えて、あらためて私たちの暮らしの舞台を見直してみましょ... 私たちは西多摩という豊かな水と緑の中で多くの動植物たちと仲良く暮らし、四季折々を満喫しています。かたや世界都市東京を従え、まさに「とかいなか(都会+田舎)」とは私たちの西多摩を指しているのです。西多摩の溢れる魅力を写真でプロムナードしてみませんか。

西多摩百景写真展(主催・西多摩百景写真展実行委員会)は1998年に第1回が開催され、昨年3年ぶりに、西多摩の魅力あふれる自然や文化を写真でとらえて地域起こしにつなげようとの主旨のもと、多摩地区の教育委員会や企業の協賛も得て多摩交流センターの助成事業の一つとして開催されました。第4回となった今回は、「私の好きな西多摩の風景、催事、今昔(組み写真)、花鳥・昆虫場」をテーマに全応募作品約260点の中から最優秀賞1点、優秀賞2点、協賛企業賞などを含めた受賞作品37点、その他入選作品69点が選ばれました。河野和典(日本カメラ社編集局長・審査委員長)によれば、「いずれも優秀な作品ばかりで、審査員は嬉しい悲鳴をあげています」とのことです。多摩を代表する写真展と言ってもよいでしょう。今回の写真展は写真展実行委員会のご協力により、入選以上の全作品を展示します。もちろん、羽村市民の入賞作品も展示されます。お楽しみに! ちなみに、第5回の開催も決まっています。小学生以上ならばプロ・アマの区別なく誰でも応募可能です。あなたも応募してみたいかがでしょうか?

アート in はむら展 VI
— ゆとろぎ美術館 —

8月20日(日)～9月10日(日) (月曜休館)
9:00～22:00 ※3Fテラス・屋上は17:00で閉場。
※最終日は全会場ともに16:00で閉場。
入場無料

さあ、楽しい夏がやってくる!羽村の夏と言えば、夏祭りと「アート in はむら展」で決まり。第6回を迎える「アート in はむら展」がゆとろぎで開催されます。多摩地区在住のプロの美術作家がゆとろぎ全館を舞台に作品を展示します。期間中、小中学生を対象にしたワークショップ(粘土でオブジェ作り)や出展作家によるギャラリートーク(作品解説)も行われます。夏休みの最後の思い出作りに家族揃って出かけ下さい。



ギャラリートークは作者と交流しながら、めったに聞くことのできる絶好のチャンス。



ワークショップも同時開催。創造するおもしろさを体験できるのは「アート in はむら展」だから。



ゆとろぎがまるごと美術館に!

小中学生ワークショップ(事前申込み先着30名)
8月26日(土) 10:00～12:00 / ゆとろぎ創作室(3F)
講師: 伊藤タダオ氏 / 材料費200円
持参するもの: 汚れても良い服装またはエプロン・筆記具
※申込み受付 8月2日(水)～15日(火) 9:00～17:00
生涯学習センターゆとろぎ 042-570-0707
ギャラリートーク(入場無料)
8月26日(土) 15:00～17:00 / ゆとろぎ展示室(1F)

※写真は2005年開催時のものです。 協力: TACネットワーク アート You 遊 パソコンなかま

2006年ゆとろぎ特別企画

The wonderful world of Noh mask

# 能面彫刻の新世界



「さんは東京  
0年近いキャ  
」の新作能面  
賞の「文部科

折宜夫（なか  
た面と初めて  
れをつけて舞

がゆとろぎに

## トーク を打つ

00（最終日は16:00まで）

会の料金を特別割引（200円）致します。



木塊の置かれた玄関に迎えてくれたのは、まだ少年の眼差しを残した新井達矢さんご本人だった。失礼ながら、まだ「くん」と呼びたくなるほどの若さだ。エンジニアの父と専業主婦の母、兄、妹のごく普通の家庭に育った。「いつのまにか、能面師になっていました。毎日の生活に馴染んでいたものだから。きっかけは何かと聞かれても」と照れながらも自然体そのままの穏やかな物言いに、かえって強い印象を受ける。

まだ幼稚園に入る以前、地域のお祭りで見にしたお神楽面に興味をひかれた。遊びのなかで、厚紙に面の図を描き、絵の具で色をつけて飽きることがなかった。5歳の時に、現代能面師の第一人者であり、無形文化財選定保存技術保持者であった

長澤氏春（ながさわ・うじはる）氏と出会い、入門。長澤氏所蔵の古い能面や資料の多さに驚いた。「面の種類の多さ、表情の豊かさに魅了され」て資料を読み込み、写真を参考に彫ることに没頭する。道具は普通の彫刻刀と父親が日曜大工で使っていた平のみを使っていたが、長澤氏から道具や技法に関することはほとんど言われたことがなく、「自分で考えなさい」と教えられた。おらかな師の教えのもと、好きなことに没頭する少年に家族も応援を惜しまなかった。

昨年、『国民文化祭ふくい2005』の新作能面公募展（全国から387人の応募）において、最年少で最高賞の文部科学大臣奨励賞を受賞した。「結果を出せて嬉しかった」と素直に喜んでいる。製作途中の面を順を追って見せてもらった。ごつごつとしていた木肌が手触りもやさしい、つるつるの、まさに人の顔に変わっていく様が一目瞭然。「ひと彫りで表情、年齢を表すことができるところが面白い」と言う。

◎ボランティア・スタッフを募集中！  
高校生以上で能面展・能楽公演の準備から設営・撤収などを手伝っていただける方を募集しています。特典は能楽舞台の無料鑑賞です。また、能楽の舞台裏を垣間みたり、出演の方々と親しくお話する機会も設けています。好奇心あふれる希望者はゆとろぎ事務局へお申し込みください。

< 第1回スタッフ会議 >  
7月17日（祝）14:00～/ゆとろぎ市民協働室

があります。 ※チケットは8月22日（火）からゆとろぎほかで前売り開始します。

# 新井達矢の面を中所宜夫が舞う 観世流能楽舞台鑑賞会

## 『殺生石 (せっしょうせき)』

■ 10月14日(土) 開場 13:30 / 開演 14:00  
 ■ ゆとろぎ大ホール (全席指定)  
 ■ 一般 (前売り) 3200円 / (当日) 3500円  
 高校生以下 1200円



中所宜夫 (なかしょのぶお) 氏 観世流能楽師。中近東・香港・イギリスなどで公演多数。宮沢賢治原作に基づく新作能「光の素足」を創作するなど、古典、実験双方において意欲的な活動を続けている。「中所宜夫能の会」を主宰。

昔、玄翁という僧が那須野の原を通りかかったところ、ある石の上空を飛んでいた鳥が突然地上に落ちた。女が現れ、「あれは殺生石という恐ろしい石だから、近寄ってはいけない」と言う。その由来を問いただすと、自分はかつて「玉藻の前」といい、帝の寵愛をうけたが正体を見破られて殺され、魂が殺生石となったと語る。

玄翁が石を供養していると、石の中からキツネの精が現れ、天竺、大唐で王様を惑わせ国を滅ぼし、日本に来たが……

中所宜夫さんは、初めて新井達矢さんの面に出合ったときの感動を忘れない。その面は能楽の演目『殺生石』に使われる。中所さんは今回の作品展を記念して、新井さんの面をつけて『殺生石』を演じる。

中所さんは能楽の魅力について、①日本語の理にかなった音楽構造を持つ「謡」(うたい)、②中国の気功にも通じる能の構えと体のさばき、③ライブならではの舞台全体の緊張感と迫力、④能舞台という異次元空間

## 中所宜夫先生のミニ講座 能楽入門

第1回 9月17日(日) 10:00 ~ 11:00  
 第2回 9月23日(土) 18:00 ~ 19:00  
 ゆとろぎ小ホール / 受講料無料

中所先生が能楽の楽しみ方をわかりやすく解説。「舞」の基本「すり足」や立ち居振る舞い、鑑賞のポイントなどを話していただきます。もしかすると、あなたもシテ方気分を味わえるかも……。受講希望者は1週間前までにゆとろぎへ。



映画『面打(めんうち)』は新井達矢氏が一つの能面を、構想し、削り、古色を施し、能楽師の中所宜夫氏によって舞台上で真の能面の生命を与えられるまでを追ったドキュメンタリー映画です。

カメラは一個の四角い木塊が、切られ、削られ、次第に表情を帯びていく様子をひたすら見つめ続けます。ナレーションやインタビュー、効果音は一切使わず、彫刻刀が木を削る音だけが沈黙の仕事場に響きわたります。一刀一刀、映像を見る側にも緊張感が伝わってきます。

## ドキュメンタリー映像 『面打 (めんうち)』

三宅流 (みやけ・ながる) 製作監督  
 カラー映像 / 60分  
 ■ 10月8日(日) 14:00 ~ 15:00  
 ■ ゆとろぎ小ホール (入場無料)

能

羽村市神明台に住む新井達矢(あらい・たつや)は造形大学の4年生だが、能面を彫り続けて既に20年リアの持ち主でもある。『国民文化祭ふくい2005』の公募展において、その技量を高く評価され、最高賞の「学大臣奨励賞」を最年少で受賞した。

あきる野市に稽古場を構える観世流能楽師の中所宜夫(なかしょのぶお)さんは、新井さんが13歳で制作した面に出合ったとき、その力強さに強い感銘を受け、それを台に立ってみたいと感じたという。

能面師と能楽師の出会いが創り出す感動の世界が広がる。(内容・実施日・入場料などは変更することがあります)

## 能面作品展&ギャラリー —新井達矢 面を—

作品展: 10月3日(火) ~ 15日(日) 10:00 ~ 17:00  
 ギャラリートーク: 10月8日(日) 13:00 ~ 14:00  
 ゆとろぎギャラリー (入場無料)  
 ※会場でアンケートに回答していただいた方には能楽舞台鑑賞会の



新井達矢 (あらい・たつや) 氏 1983年、羽村市生まれ。7歳から面を彫り始め、『国民文化祭ふくい2005』の新作能面公募展において最高賞の「文部科学大臣奨励賞」を受賞。現在、東京造形大学造形学部在籍。

サロン

※参加・受講の申し込み・問い合わせは生涯学習センターゆとろぎ ☎042-570-0707へ



サロンでトーク ●9月9日(土) 午後7時~9時 ●ゆとろぎ講座室 ●会費500円

ゲスト 村山利夫さん

体験的日米異文化交流

『夢窓(Dream Window)』(米国スミソニアン研究所製作/ジャン・ユンカーマン監督)という日米合作の短編映画があります。日本の「庭」を通して日本人の「こころ」を解き明かそうとする文化映画です。京都の西芳寺や修学院離宮、龍安寺などに取材した上質の映像に加えて、勅使河原宏(映画監督)や大岡信(詩人)など日本を代表する文化人へのインタビュー、そして、世界の武満徹による清らかな音楽など、アメリカで「日本の心に最も肉薄した映画」と評され、サンフランシスコ国際映画祭審査員賞、エミー賞(アカデミー賞と肩を並べる賞)を受賞した秀作です。
さて、「サロンでトーク」第2回は、この『夢窓』に日本側のエグゼクティブ・プロデューサーとして関わった村山利夫さんをゲストに迎え、日米のカルチャーギャップや製作裏話をお聞きします。村山さんは長年にわたって映画の製作に携わった後、本年4月からゆとろぎ協働事業運営市民の会の事務局長として活躍している方です。いまだから話せる話が盛り沢山です。

アカデミア

明るい「定年」を迎えるための総合講座 好評開催中

「定年」はサラリーマンの宿命です。大量定年時代を目前にして、企業では定年延長の制度が進んではいますが、いずれは必ずやってきます。
定年を目前にして、定年後も働き続けたいと考えている人、あるいは家族のために充分働いたのだから「毎日が日曜日」を存分に楽しみたいと考えている人、はたまた、年金生活に大きな不安を覚える人、などさまざまな人様々です。既に定年を迎えた先輩の経験談によれば、「定年後」の生活には予想以上の出来事が待っているようです。
6月10日からスタートした「明るい「定年」を迎えるための総合講座」は、前半3回の講座を終了しましたが、いずれの回も定年を迎える人だけでなく既に定年を迎えた人も含めて、受講料を越える参加者で賑わっています。改めて「定年」に対する関心の深さが見えました。
講座はいよいよ佳境を迎え、第4回以降も「ライフ・プランニング」の核心に触れるテーマで講座が続きます。各回とも一流の専門家講師を迎え、お話をうかがうだけでなく、参加者からの質問にも応じていただきます。また、講座の途中にコーヒープレークを設定してありますので、講師を交えて参加者同士が自由に意見交換をしていただくのも、この講座ならではの趣向です。各回とも定員は40名ですが、当日の申し込みも受け付けます。ただし、資料等の準備がありますので、できるだけ事前に事務局へお申し込みください。

開講日 6月10日(土)~9月2日(土)
※開催日時は下表参照
会場：ゆとろぎ講座室ほか
受講料：各回1人900円
募集定員：各回40名(先着順)
応募締切：原則各回開催日の1週間前
※席に余裕のある場合もあります。当日でもゆとろぎでご確認ください。

Table with 4 columns: 回 (Session), 開催日・時間 (Date/Time), 講座名 (Topic), 講師・コーディネーター (Instructor/Coordinator). Rows include sessions for '終了' (Completed) and specific dates like 7月22日, 8月5日, 8月19日, 9月2日.



- 講座の受講申込みは、各講座の開始日の2ヶ月前から受け付けます。希望者多数の場合は抽選となります。
- 受講希望者は往復はがきに ①住所 ②氏名 ③電話番号 ④e-mail アドレスを明記の上、生涯学習センターゆとろぎまでお申し込みください。
- 受講希望者の都合で講座開始前に受講をキャンセルした場合は「材料費」をご負担いただきます。
- 一旦納入された受講料は主催者の都合による場合を除いて払い戻しは致しません。

## 初心者アート工房

※講座は内容の変更あるいは中止になる場合があります。

講座名	対象	受講料	開催日	内容
親子陶芸教室	小中学生の親子 30名	親子で 2500円	作品制作 7月23日 絵付け 8月6日 合評会 8月13日 各10:00～16:00	○土とたわむれ、作品作りに汗を流せば、親子のコミュニケーションもバッチリです！夏休みの思い出作りにご参加下さい。 (残席少々)
油絵教室 全12回	初心者 20名	●受講料 1回900円 ●材料費700円	満員御礼	○基本のデッサンからスケッチ、キャンパスの使い方など、油絵の基本を習得します。きっと油絵の魅力に引き込まれること請け合いです。 ○スケッチブック・絵の具・筆などは各自でご準備ください。 ○受講料・材料費は初回受講時に一括前納していただきます。
とんぼ玉 初心者1日 体験教室	初心者 20名	受講料1000円 材料費1800円	9月1日(金)	○いま、大人気の「とんぼ玉」制作を体験しましょう。
水彩画教室	初心者 15名	準備中	準備中	○手軽で楽しい「水彩画」を始めませんか？静物を描くのもよし、スケッチもよし。水彩画で旅行の楽しみも広がりますよ。
日本画教室	初心者 15名	準備中	準備中	○日本画の基礎から修得できます。水墨とも水彩とも違う日本画の世界をのぞいてみませんか？

※問い合わせは生涯学習センターゆとろぎ ☎042-570-0707へ

## パソコン工房

※講座は内容の変更あるいは中止になる場合があります。  
※講座中に①②の区別があるものはどちらかを選択。

講座名	対象	受講料	開催日時	内容
Word 初級講座②	15名	1500円	7月毎金曜日 13:30～15:30	○Wordの文書編集技術を講義・実習形式で学びます。入門講座を受講した方または同等の基礎知識を有する方でローマ字入力のできる方を対象にしています。体裁の整った資料作りができるようになります。
Word 中級講座	各15名	各1500円	①7月毎金曜日 10:00～12:00 ②8月毎金曜日 13:30～15:30	○凝ったチラシやポスター作りに役立つWordの操作技術を講義・実習形式で学びます。初級講座終了または同等の知識・技術のある方で一般的な文書資料を作ることができる方を対象とします。
Excel 初級講座	各15名	各1500円	①8月毎金曜日 10:00～12:00 ②9月毎金曜日 13:30～15:30	○Excelの表計算機能・グラフ機能・データベース機能の知識と操作技術を講義・実習で学びます。
Excel 中級講座	各15名	各1500円	①9月毎金曜日 10:00～12:00 ②10月毎金曜日 13:30～15:30	○Excelの表計算機能・グラフ機能・データベース機能を生活に役立つ応用例で学びます。
年賀状を作ろう <10月コース>	各15名	各1500円	10月毎金曜日 10:00～12:00	○パソコンやデジカメをお持ちの方、今年こそWordで一味違った年賀状を作りませんか。この時期なら、まだまだ充分間に合います。 ○<11月コース>を選択の場合はどちらか都合の良い方を選んでください。
年賀状を作ろう <11月コース>			11月毎金曜日 ①午前コース 10:00～12:00 ②午後コース 13:30～15:30	



「ゆとろぎクラブ」はゆとろぎ事務局と市民のみなさんとの交流のための空間です。事業についての感想・意見もOK。事業のリクエストも大歓迎です。あんなことこんなこと、わいわいがやがや、市民のみなさんからの投稿もお待ちしています。

ゆとろぎは  
こころの  
ほうれんそう  
だから、  
みんな  
で  
育てましょ



ゆとろぎは、市民のみなさんに賞味期限のない心の栄養をお届けします。メニューはコンサートから学習講座まで、すべて手作りです。どれを選ぶかは、あなたのお好み次第。お好みのメニューがないときは、遠慮なくオーダーしてください。もちろん、あなたがシェフとなつて、新メニューを開発するのも大歓迎です。シェフの免許はいりません。チャレンジ精神さえあれば、それで充分です。

編集室から

▼「ゆとろぎ」が開館して、早くも3ヶ月が過ぎました。オープニング・イベントに続いて、降矢ななさんの絵本原画展と内田麟太郎さんの講演会、岡田修さんの津軽三味線、マサ教授のピアノ講義、ロス・インディオスのコンサートなど立て続けに開催し、市民の会事務局には、素人集団とは思えない企画力、との声が寄せられました。▼また、パソコン教室、陶芸教室、押し花教室など、募集定員を上回るご応募をいただき、市民のみなさんのニーズの多さに、関係者一同、あらためて嬉しい悲鳴をあげています。ご希望に添えなかった市民の方々にはお詫び申し上げます。今後、一人でも多くの方々に参加していただけるように工夫を重ねて参ります。▼秋には、ゆとろぎの総力をあげて、新井達矢さんの能面作品展と観世流能楽舞台の本格公演を企画しています。滅多に触れる機会のない能楽の世界にご期待ください。▼「ゆとろぎ」は市民のみなさんの力で成長しています。みなさんの暖かい眼差しと厳しいご意見がなによりの励みです。

季刊ゆとろぎ ● 夏号

2006年第2号通巻2号  
2006年7月15日発行

発行 ■ 羽村市生涯学習センターゆとろぎ

企画・編集 ■ ゆとろぎ協働事業運営市民の会

〒205・0003

羽村市緑ヶ丘一丁目一五

☎042-570-0707

印刷 ■ (株) 東光社

東京都北区東田端一丁目十一

編集に携わった人 ■ 江久保千英 / 笠原優子 /

小林靖子 / 関沢和代 / 日下田まや / 平田栄一 /

船橋瑛 / 古沢義隆 / 村山利夫 / 山本豊 / 横

田轟 / 渡部清孝 / 羽村市教育委員会生涯学習

課

写真 ■ 平田栄一

協力 ■ 西多摩百景写真展事務局

TAC ネットワーク

無断転載を禁止します。

Copyright © 2006 by YUTOROGI  
All rights reserved.